

かながわの風

20
July
2018

<http://www.kacsw.or.jp>



特集

社会福祉×別領域の “科学反応” …………… p.2・3

- 第26回 日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会(山口大会) …………… p.4
- 平成29年度 理事会3月開催報告 …………… p.6
- 生涯研修センターよりお知らせ …………… p.7
- 公開講座&研修会 …………… p.8
- 広報委員会よりお知らせ …………… p.8
- 編集後記 …………… p.8





社会福祉 × 別領域の“科学反応”

横浜支部
連続講座2017
【初級編】

社会福祉 × 別領域の“科学反応”「蓄える編」研修レポート 今、ソーシャルワーカーに求められる新たな知見 ～変わる社会に変わる私～

人口減少化、空き家の増加、社会的孤立、生活困窮などの問題が地域の治安・就労・所得・教育などにも影響を与えています。このような状況下で既存の福祉サービスや援助の方法だけでは既に問題の把握さえも困難になっているなか、福祉以外の分野では問題をどう捉え、どのようなアプローチがなされているのでしょうか。

横浜支部では社会福祉士や福祉を学ぶ学生が、別領域とされる研究者や実践家と交わることによって新しい援助の手法・連携について考える連続講座を始めました。今年1月～5月にかけて行った「ソーシャルワーク×倫理・経済・異文化」の講座概要をご紹介します。



横浜市社会福祉士会 連続講座 初級編

社会福祉×別領域の“科学反応” 今 ソーシャルワーカーに 求められる新たな知見

コーディネーター 創価大学 西川ハンナ

変わる社会に変わる私 ～蓄える編～

人口減少・空き家の増加・社会的孤立・生活困窮などの問題が、地域の治安・就労・所得・教育などにも影響を与えている。このような状況下で、既存の福祉サービスや援助方法だけでは、既に問題の把握さえも困難になっている。ソーシャルワーカーも新しい援助システムや連携を創造するため、新たな力を蓄える必要がある。社会の課題に対し、別領域ではその問題をどう捉え、どのようなアプローチがなされているのか、ソーシャルワーカーが新たな知識を蓄えることを目的に、別領域とされる研究者・実践家を討議の場に招き、交わることで、新しい援助の手法・連携を共に考えたい。

領域を超えて・組織を超えて・立場を超えて

第3回 平成30年5月27日(日) 13:30-16:30 横浜市港南区福祉保健活動拠点

ソーシャルワークと異文化

近年、グローバル化により外国籍、他民族など、私たちは異なる文化的背景をもつ人々を対象にソーシャルワークを展開します。しかし、貧困問題、経済的格差などにより、内なる「異文化」的な背景を感じる機会も増えています。連続講座の最終回は、「他者との異なり」について共に考えていきます。

第一節
異文化的な背景を持つ人に対して我々はどう向き合うのか。
文教大学 森 恭子 (社会福祉学)

第二節
内外の異文化について
・ろう文化と日本社会
文教大学 大学院 笹井 雄司
・エスニック・コミュニティと日本社会
在日ミャンマー女性

横浜市社会福祉士会 連続講座 初級編

社会福祉 × 別領域の科学反応 今 ソーシャルワーカーに 求められる新たな知見

コーディネーター 創価大学 西川ハンナ

変わる社会に変わる私 ～蓄える編～

人口減少化・空き家の増加・社会的孤立・生活困窮などの問題が、地域の治安・就労・所得・教育などにも影響を与えている。このような状況下で、既存の福祉サービスや援助の方法だけでは既に問題の把握さえも困難になっている。ソーシャルワーカーも新しい援助システム・連携を創造するために新たな力を蓄える必要がある。社会の課題に対し別領域ではその問題をどう捉え、どのようなアプローチがなされているのか、ソーシャルワーカーが新たな知識を蓄えることを目的に、別領域とされる研究者・実践家を討議の場に招き交わることで新しい援助の手法・連携を共に考えたい。

領域を超えて・組織を超えて・立場を超えて

第1回 平成30年1月21日(日) 13:30-16:30 横浜市中区福祉保健活動拠点

ソーシャルワークと倫理

倫理はソーシャルワークに役立たないのだろうか。
倫理学 創価大学 塚名林 亮
理念の実現化 コミュニティ作りはここまで来ている。
越谷市住まい・まちづくり協議会 代表 若色 欣爾

第2回 平成30年3月4日(日) 13:30-16:30 横浜西区福祉保健活動拠点「フクシア」

ソーシャルワークと経済

経済学者がなぜ学生と共に「子ども食堂」を作り運営するのか
経済学 創価大学 碓井 健寛
われわれは、非専門家に勝るのか
創価大学 碓井ゼミ 子ども食堂運営
西川ゼミ 変えあい事業インタビュー

第3回 平成30年5月(予定) **ソーシャルワークと異文化**

受講料 各回500円 参加申込み 裏面またはウェブサイトから

第1回

ソーシャルワークと倫理

講師

創価大学

蝶名林 亮先生

倫理学諸分野は細分化が進んでおり、医療、環境、ビジネス、技術者など他の分野と大いに関わりを持ちつつ、研究が進められていますが「福祉」は応用倫理学の一分野としては構想途上とされています。日本社会福祉士会の倫理綱領には「社会の不正をなくす」、「社会の変革を目指す」とあり、日本医師会の「医の倫理綱領」の医療を通して医療従事者は社会の発展に貢献しなければならないという目標より強い義務・責務を負っているように見える。これは福祉の分野に携わる人たちは社会の不正の影響を受けている人達と接する機会が多い社会的立場にあり、社会の不正を見つけ出す「倫理的感覚」と呼ぶべきものを持っているからではとのことでした。又、越谷市まちづくり協議会の若色氏からは、理念に基づくコミュニティ作りの裏側を伺いました。



第2回

ソーシャルワークと経済

講師

創価大学

碓井 健寛先生

～経済学者がなぜ学生と共に『子ども食堂』を作り運営するのか～

経済学の先生がなぜ子ども食堂やホームレスの夜回り、夜間中学、こども図書館の運営に関わっているのか。統計的に子どもやひとり親家庭の貧困率が先進国一高い日本において、発信できない人々に対し、ディスパニブル(必要とされた時に寄り添うことができる状態)であろうとする姿勢が必要であると訴えました。

また碓井ゼミの学生からは「はちおうじ子ども食堂」の取り組みについて、コーディネーターの西川ハンナゼミ学生からは、地域住民へのインタビューをもとに、これからのコミュニティのありかたについての考察を発表していただきました。



第3回

ソーシャルワークと異文化

講師

文教大学

森 恭子先生

～異文化的な背景をもつ人に対して我々はどう向き合うのか～

実践現場では言葉・意思疎通の壁をはじめ、文化的背景の違いからさまざまなジレンマを抱えながら対応しています。在留外国人256万人と過去最高となっており、今後ますます外国人住人と福祉専門職との出会いも増えることが予想されます。「郷に入っては郷に従え」ではなく、異なる文化的背景を持つ人々に対応する洞察力、知識、技術が求められています。

異文化的な背景を持つコミュニティを知るために、在日ミャンマー女性とろう文化について文教大学院笹井氏より実践報告をいただきました。



予告

横浜支部連続講座【中級編】

～変わる社会に変わる私「深める編」～

初級編「蓄える編」で得た知見をふまえ、合意形成と発信の手法を学びます。

第1回 : 2019年1月下旬 午後

第2回 : 2019年2月中旬 午後

会場 : 市内会議室



ハマの福祉キャラクター
「ハグ・ミー」

詳細は決まり次第、神奈川県社会福祉士会ホームページ、横浜支部ブログ、Facebook等でお知らせします。

第26回 日本社会福祉士会全国

第26回を迎える、日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会が、7月7日・8日に山口市で開催されました。今回のテーマは「挑む－challenge－」。社会福祉士誕生から30年が経った今年、私たちの存在意義を考えながら、それぞれの地域で、またそれぞれの分野で、どのような使命感を持ち、何に挑むべきか。全国から社会福祉士が一堂に会し、考えました。



神奈川県から参加された方々に、全国大会参加の意義と感想を伺いました。



北尾 亮さん

専門職としての存在意義を原点に戻り、考える場として毎年参加しています。大会では、マイクロ～マクロ視点と多面的に見識を広げられます。また醍醐味は、全国の社会福祉士との再会と主催地の文化や歴史を満喫できることです！



関口 貴之さん

全国大会は全国の社会福祉士が一堂に集います。様々な立場からの講演、発表を聞くことで社会福祉士の今の立ち位置、課題を発見でき、自分の学びになります。全国の社会福祉士と交流したり観光も楽しみです。



尾形 創史さん

全国大会では業務に関することを学ぶ機会も多いですが、全国で魅力的な活躍をしている社会福祉士の仲間との出会いがいちばんの楽しみです。それから、その土地のお酒を飲むことも（これが1番か?）。今年は山口で「瀬祭」をいただきます！



江原 伸弘さん

全国大会は毎年、2日目の特別分科会を楽しみに参加しています。熊本ではハンセン病について、また福島では震災・原発事故からの避難者支援についてなど、開催地域で、社会福祉士が何を課題とし、どう関わったかを聞くことができます。皆さんも一度行かれては如何でしょうか。

第26回 日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会(山口大会)

開催日時：2018年7月7日(土)・8日(日)

会場：山口市民会館・湯田温泉ホテルかめ福

テーマ：「挑む－Challenge－」～社会福祉士誕生から30年の今～

詳しくはホームページをご覧ください。<http://yamaguchicsw.com>

第27回大会は2019年6月1日・2日に茨城県つくば市で開催されます。



大会・社会福祉士学会(山口大会)

分科会発表概要・感想：植木 唯喜さん

児童養護施設に入所する 子どもの貧困と自立について

～アフターケア(退所後支援)に焦点をあてて～



この度は、西日本豪雨により、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。災害により、大会当日の早朝、新横浜駅から新幹線に乗り新大阪駅で連休しました。新大阪駅構内で運行再開を待ち、9時間経過しても再開の目処が立たず、残された選択肢として新大阪で一泊し、始発で山口に向かうことを決断しました。

翌日、始発の車窓から目に映った光景、災害の凄まじさに言葉を失いました。私の発表は、昼からの予定で間に合うことができましたが、他分科会発表ではいくつかキャンセルもあり、複雑な心境の中、発表を迎えました。

学会発表の動機は、ソーシャルワーカーとして感じていたジレンマです。支援する際、子どもの最善の利益とは何かを追求するケアワークとケースワークが大切で、その支援が子どもの傷ついた心身を癒し、発達を促します。しかし、支援の効果は即効性があるものではないため、卒園した20代から70代の様々な年齢層の児童養護施設出身者との会話の中から、私達が支援してきたこと

が、子ども側からするとどうだったのかを振り返りました。

研究開始当時から「発表の場は、社会福祉士学会」と目標を定めていました。生活構造分科会を希望したのは、児童養護施設に入所する子どもの生活構造(家族背景、入所経緯等)は、社会との間に起因する課題が大きいと捉えているからです。

もう一つの動機は、社会福祉士を取得し10年が経つ節目でもあり、実態を知り、世の中に働きかけることも社会福祉士に求められる資質だと感じているからです。

発表に至るまで、原稿添削や日々の業務に加え発表というプレッシャーに押しつぶされそうな自分がいました。その状況を察して、分科会担当委員の岡田先生から丁寧に様々な視点からの助言と何度も励ましのお言葉を頂き、大変勇気づけられました。これまでの準備等々事務局をはじめ、横浜女子短期大学の諸先生方、応援して下さった白峰会平野理事長、中川本部長、皆様にご理解、ご協力いただき心より感謝申し上げます。

共同研究者：高橋 理恵さん

「児童養護の現状について、専門職の立場、視点で研究し、子どもたちのより良い支援の足掛かりとしたい。」予てより、家庭支援専門相談員の植木が話していました。心理士だった私が大学院在籍中から続けてきた研究を、平成23年度の「植山つる児童福祉研究奨励基金」の助成を受けて集大成とした経緯もあり、平成27年度の助成対象募集の案内を目にし、締め切り間近に駆け込み応募しました。幸運にも選考に通り、日々の業務をこなしながら、2人で調査を開始し、多くの施設からご協力をいただきましたが、納得のいく分析には至りませんでした。

子どもの貧困が問題視される時代、一般の生活保護世帯より、児童養護施設出身者の進学率が低いのはどういうことか。そんな疑問と課題にぶつかることが多く、研究テーマは、全国の児童養護施設で、児童手当をどの

ように活用しているか。また、退所児童の状況とアフターケアの実施方法、現在抱えている問題はどの様なことかを調査し、現状を把握することを目的にしました。

調査の課程、結果から、見えてきたのは経済的な面だけでなく、それを支える社会の仕組みでした。社会の仕組みを見直す(法整備)と共に、インケアとアフターケアの充実も求められます。退所までに子どもたちの成育歴を整理し(ライフストーリーワーク)、多角的なアプローチによって、根っこを作り育ててあげること。辛く厳しい現実を突きつけるだけでなく、将来に対し夢や希望が描けるインケアと、自立後も切れることなく支え続けるアフターケアが大切だと学びました。そこにおいて、保育士や指導員だけでなく、家庭支援専門相談員や心理療法担当職員といった専門職の存在はとても重要だと感じる研究でした。

<平成29年度 理事会3月開催報告>

(偶数月開催以外は臨時理事会となっています)

■臨時理事会

平成30年3月26日(月) 19時30分～21時 神奈川県社会福祉会館2階 第2会議室

議長：山下会長、理事出席11名 事務局1名 議事録署名人：出席全理事

- 審議事項** 第1号議案 ぱあとなあ神奈川名簿登録審査
第2号議案 2018年度成年後見相談員の委嘱
第3号議案 県央支部幹事の交代による委嘱

- 報告事項** ①日本社会福祉士会総会報告(3月17日開催) 山下会長・吉田副会長が出席した旨と内容の報告
②前回開催議事録確認(2月24日開催理事会)

- 協議事項** ①2018年度理事会日程 ②平成30年度生活困窮者自立支援制度都道府県研修事業委託
山下会長より事業受託の内容の説明

<以上、承認>

<平成30年度 理事会報告>

■第1回理事会

平成30年4月25日(水) 19時～20時55分 神奈川県社会福祉会館2階 第2会議室

議長：山下会長、理事出席12名 事務局1名 議事録署名人：出席全理事 齊藤監事・江原監事

- 審議事項** 第1号議案 入退会審査(3月入会は無し、退会4名、転出8名、退会78名、3月末で会員数2,843名、組織率18.41%)
第2号議案 2018年度支部活動費
第3号議案 2018年度生活保護地域社会参加支援事業(業務委託契約)
第4号議案 2018年度被保護者就労準備支援事業及び居住の安定確保支援事業業務委託契約
第5号議案 2018年度秦野市生活保護受給者就労準備支援事業業務委託契約
第6号議案 2018年度地域生活定着支援センター業務委託契約
第7号議案 2018年度神奈川県介護支援専門員実務研修受講試験受験審査業務の委託契約
第8号議案 2018年度神奈川県生活困窮者自立支援制度都道府県研修事業委託請負
第9号議案 2018年度名簿登録料等の徴収事務委託契約
第10号議案 ぱあとなあ神奈川名簿登録審査
第11号議案 ぱあとなあ神奈川後見人候補者名簿登録状況及び後見人等候補者推薦の状況
第12号議案 ぱあとなあ神奈川成年後見相談員追加委嘱
第13号議案 代議員総会開催(議事案・基調講演講師案等)
第14号議案 会費未納者への請求取扱

- 協議事項** ①役員報酬規程改正(案)(県指摘により規則内容を整備するための改正案を検討)

- 報告事項** ①倫理委員会進捗状況 ②各推薦後援状況 ③各事業部(委員会)2月・3月の活動報告
④各支部2月・3月の活動報告 ⑤3月26日開催臨時理事会議事録 ⑥日本社会福祉士会ヒアリング
(4月15日開催) ⑦正副会長動向報告 ⑧新規採用職員(回覧)

<以上、承認>

■臨時理事会

平成30年5月2日(水) 19時30分～20時50分 神奈川県社会福祉会館2階 第2会議室

議長：山下会長、理事出席10名 事務局1名 議事録署名人：出席全理事 齊藤監事・江原監事

- 審議事項** 第1号議案 倫理委員会の審査結果報告を受けて、理事会としての態度決定
第2号議案 役員報酬規則改正案
第3号議案 代議員総会議事

- 協議事項** ①基礎研修の申込選考基準 ②理事会資料の回収基準案

- 報告事項** ①2018年度第1回理事会(4月25日開催)議事録

<以上、承認>

■臨時理事会

平成30年5月22日(火) 19時～20時50分 神奈川県社会福祉会館2階 第2会議室

議長：山下会長、理事出席11名 事務局1名 議事録署名人：出席全理事 江原監事

- 審議事項** 第1号議案 入退会審査(4月入会96名、退会6名、転出7名、4月末会員数2,929名、組織率18.28%)
第2号議案 2017年度事業報告案

第3号議案 2017年度決算報告案

第4号議案 ぱあとなあ神奈川成年後見相談員追加委嘱

報告事項 ①監事監査報告 ②各推薦後援状況 ③ぱあとなあ神奈川後見人候補者名簿登録状況及び後見人等候補者推薦の状況 ④代議員繰上げ ⑤正副会長動向 ⑥前回5月2日開催理事会議事録の確認 <以上、承認>

■第2回理事会

平成30年6月2日(土) 18時～20時 ウィリング横浜11階 多目的室

議長：山下会長、理事出席11名 事務局1名 議事録署名人：出席全理事 江原監事 オブザーバー新理事予定者

審議事項 第1号議案 ぱあとなあ神奈川名簿登載

協議事項 ①新役員体制による執行業務分担 ②代議員総会(進行等検討)

③神奈川県弁護士会主催13土業合同相談会後援及び相談担当者派遣

報告事項 ①公示取扱細則 ②正副会長の動向 ③5月22日臨時理事会議事録

<以上、承認>

<2018年度 代議員総会>

平成30(2018)年6月9日(土) 14時～16時 ウィリング12階121～123

出席 35名 委任状17名 欠席4名

審議事項 第1号議案 2017年度(公社)神奈川県社会福祉士会事業報告案

第2号議案 2017年度(公社)神奈川県社会福祉士会決算報告案

第3号議案 (公社)神奈川県社会福祉士会役員報酬等及び費用に関する規則改正(案)

第4号議案 2018年度2019年度(公社)神奈川県社会福祉士会役員(案)

第5号議案 本会会員の懲戒処分(案)

報告事項 2018年度(公社)神奈川県社会福祉士会事業計画・2018年度(公社)神奈川県社会福祉士会予算

<以上、承認>

生涯研修センターよりお知らせ

○スーパービジョンのコーディネート業務について

神奈川県社会福祉士会では、認定社会福祉士認証・認定機構で定めるスーパービジョンに関するコーディネート業務を実施しています。対象となる方は、①認定社会福祉士、②基礎研修修了者、①②のいずれかに該当する方です。スーパービジョンを実施するスーパーバイザーは、認定社会福祉士認証・認定機構のホームページでご確認ください。神奈川県社会福祉士会が連絡窓口になっているスーパーバイザーを希望する場合は、事務局までお尋ねください。具体的に希望するスーパーバイザーがない場合でも、ご相談いただければ、分野や地理的なことを加味してご紹介できる場合もあります。なお、ご希望に添えない場合がありますので、予めご了承ください。

神奈川県社会福祉士会で実施しているスーパービジョンのコーディネート業務は、スーパービジョン契約を締結するまでの連絡調整、スーパービジョン実施の会場予約(必要な場合)、スーパービジョン実施中の苦情対応です。

スーパービジョンを実施するには、スーパーバイザーとスーパーバイジーとの間の個別契約になりますので、契約によって費用が異なります(独占禁止法上、会として費用を提示することはできません)。

URL : <http://www.kacsw.or.jp/>

神奈川県社会福祉士会

検索

月	日	開始時間	終了時間	研修名	概要	場所	主催	対象	費用
7	28	16:00	17:30	ザ・車座集会在香川	看護小規模多機能型施設「結の寄りあん」見学と車座集会。夜は暑気払い(懇親会)	茅ヶ崎市香川周辺	湘南東支部	会員	無料(懇親会は有料)
8	4	14:00	16:00	つるふくnet(横浜支部鶴見区連絡会)講演会	「貧困者から見た寄り添い型支援のあり方とは何か?」～野宿生活者の実態調査から見えてくること～	鶴見区福祉保健活動拠点	横浜支部 鶴見区連絡会	一般	無料
9	21	19:00	21:00	障害者の就労支援	社)青い鳥 川崎南部就労支援センター所長 西村 和恭氏	エポック中原第3会議室	川崎支部	会員	無料
10	6	8:00	15:00	寒川ふれあいフェスティバル(ブース出展)	福祉クイズ、相談会ほか	寒川中央公園	湘南東支部	会員	無料
10	19	19:00	20:30	情報交流会(サロン)	当日集まった参加者が興味関心のあるテーマでフリートーク。お楽しみに!	北部身体障害者福祉会館	川崎支部	会員	無料

BEST SHOT を
お待ちしております!

広報委員会よりお知らせ



表紙写真大募集!!

あなたの写真で表紙を飾りませんか?

広報委員会では新たな取り組みとして、「かながわの風」の表紙写真の公募について検討を進めています。現在、写真の送付媒体をどのようにするか、公募ルールをどのように設定するか等、具体的な調整段階にあります。今後の予定としては次号にて表紙写真の募集を掲載し、来年4月発行予定の第22号より公募頂いた写真で表紙をリニューアルする予定であります。

編集委員も同時募集中!

本会会員の皆様の中で、広報制作に興味・関心がお有りの方は、事務局までお知らせください。是非、新しい「風」づくりに参加をお願い致します。なお、広報委員会は原則として奇数月の最終週の火曜日、19:00～21:00に開催しております。

(広報委員長:日向 明)

本会は、2018年度定期役員総会において、平岡祐二会員(会員番号4782)が代表取締役として運営する事業所が神奈川県から行政処分を受け、本会定款第13条第2項(2)「定款その他の規定により会員に与えられた権利の停止」の処分を行うと決議されたことにより、2018年6月9日より2019年6月8日まで「会員に与えられた権利の停止」をするものとした。書面公示は規則に基づき事務所前に6月11日から7日間行った。HP公示は広報発行同日に行った。

編集後記

「愛を結ぶ…」

その子は僅か5年という短い人生を終えた…。船戸結愛ちゃん、両親からの壮絶な虐待の末、短すぎる生涯を閉じた…。報道で流れた、ひらがなだけのそのノートにどれだけの人が涙したであろう。「もうパパとママにいわれなくてもしっかりとじぶんからきょうよりもっとあしたはできるようにするから もうおねがい ゆるして ゆるしてください おねがいます」あまりにも惨く一部分のみであっても載せることすら辛くそして悲しい…。

子どもが犠牲になる度に、燭台の灯りをそっと手で包むように触れる詩がある。小欄でも幾度となく引いているが、「またか」と思わずにお付き合い頂きたい。〈朝に見て昼には呼びて夜は触れ確かめをらねば子は消ゆるもの〉、〈しつかりと飯を食はせて陽にあてしふとん

にくるみて寝かす仕合わせ)いずれも、子を思う無限の親心を数々の詩に残した歌人、故・河野裕子さんの珠玉の作品。どの作品も、愛しい子を、こよなく慈しむさまが詠み手の心を掴んで離さない…。「親」とは「斯くあるべき」か今一度、自問自答したい…。

フェイスブックから溢れる結愛ちゃんの一瞬にして時を止めてしまう魔法のような、その微笑みに、いまはただ安らかにと願うばかりである。

そしてわが子へ贈る、「特別な事など無くていい。君たちと歩むずっとずっとその先にいつも笑顔が満ち溢れる、そんなささやかな毎日を過ごしたい…

未来から君たちに訪れる幾つもの幾つもの、ありふれた瞬間をずっと傍で見させて欲しい…」と。

